

エピソード NEO

引違い窓 / 片引き窓 / 両袖片引き窓 / 面格子付引違い窓

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- この説明書は、必ず取付される方にお渡しください。
- お施主様向けの取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

注意 / お願い

- 本説明書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。
- 内容を十分ご理解のうえ、指示を守って商品をお取扱いください。

表示	意味
注意	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要な傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度
お願い	取扱いを誤った場合、使用者が通院加療の必要のない程度の傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

注意

● 取扱い・施工上の注意

- 反り、変形防止のため、樹脂部を直射日光に当てた状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 保管、運搬の際は樹脂部に直接荷重がかからないようご配慮ください。
- 商品の運搬は相応の人数で行ってください。(最大で100kgとなります。)
- 樹脂部をハンマーなどで直接たたかないでください。樹脂部が割れるおそれがあります。
- 障子の吊込みは相応の人数で行ってください。
- 障子の吊込み、建付調整後、必ずはずれ止め部品のセット、確認を行ってください。
- 浴室で使用の場合は、水漏れ防止のため浴室用防水部品セット(別売)を取付けてください。
- 取付開口部の水平・垂直・対角寸法およびねじれの無いことを確認してください。
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能、性能を発揮できず、家屋の損害の原因になる場合があります。
- 連窓、段窓する場合は連窓方立・段窓無目の説明書をあわせてご覧ください。

● ねじの締付けトルクについて

- 電動ドライバーなどをご使用の際、締付け過ぎますと、ねじが空まわりするおそれがあります。
- 電動ドライバーなどをご使用の際は、適正トルクでねじ留めしてください。

締付けトルクは以下を目安に設定してください。

アルミ部 : 2.0~2.5N・m (20~25kgf・cm) 程度
樹脂部 : 2.0N・m (20kgf・cm) 程度
樹脂アングル部 : 1.0N・m (10kgf・cm) 程度

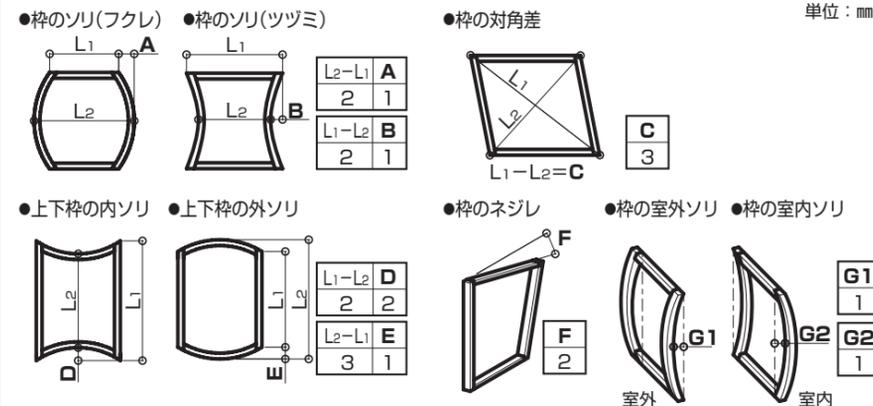
お願い

● ねじの締付けについて

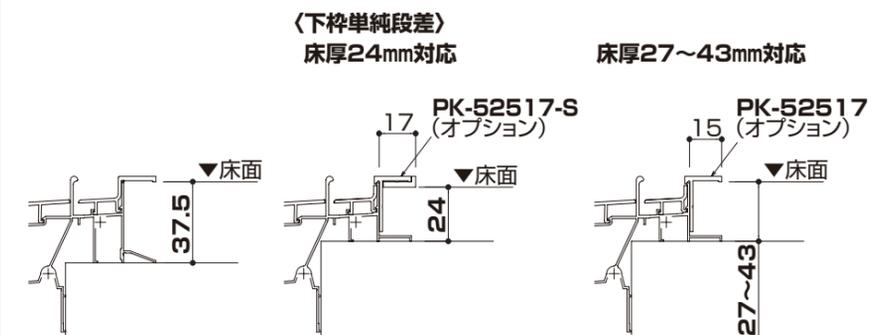
- 取付ねじはまっすぐに打ってください。また、樹脂部材(アングルなど)のねじ留めは締めすぎないように本説明書にある適正トルクでねじ留めしてください。

● 枠の取付精度について

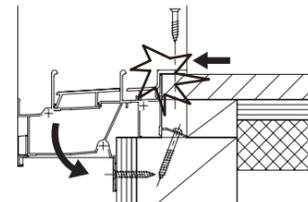
- 枠取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。下記寸法を超えると気密・水密性が悪くなります。



● 床面との取合いについて



- 床上げの際は床材を強く押しあてないでください。下枠の転びの原因となります。



同梱一覧

引違い窓 / 片引き窓 / 両袖片引き窓

番号	①	②	③	④	⑤
姿 図					
品 名	皿木ねじ (φ3.1×25)	皿木ねじ (φ3.5×40)	皿木ねじ (φ3.1×20)	丸木ねじ (φ3.1×30)	皿木ねじ (φ3.1×25)
品 番	WF-3125	WF-3540	WF-3120	WR-3130	WF-3125
個 数	8~36	2~20	12~58	2~9	2~13
備 考	枠取付用	上枠・たて枠取付用	アングル部取付用	下枠取付用 (在来・テラスタイプ)	下枠取付用 (2×4, 下枠単純段差・テラスタイプ)

面格子付引違い窓

番号	①	②	③	⑥	⑦
姿 図					
品 名	皿木ねじ (φ3.1×25)	皿木ねじ (φ3.5×40)	皿木ねじ (φ3.1×20)	段付バインド タッピンねじ3種 (φ4×14)	段付バインド タッピンねじ3種 (φ4×13)
品 番	WF-3125	WF-3540	WF-3120	K-13436	CQ-4010
個 数	8~18	2~10	12~30	2~6	2~6
備 考	枠取付用	上枠・たて枠取付用	アングル部取付用	たて格子 上枠取付用	井桁・ラチス・横格子 上枠取付用

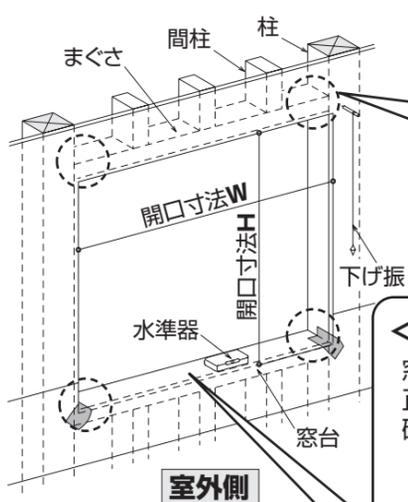
番号	⑧
姿 図	
品 名	トラスタッピンねじ3種 (φ4×8)
品 番	CT-4008
個 数	2~6
備 考	格子 下枠取付用

1. 開口部の確認

開口部には相当の重量がかかるため、補強がなされていることを確認してください。

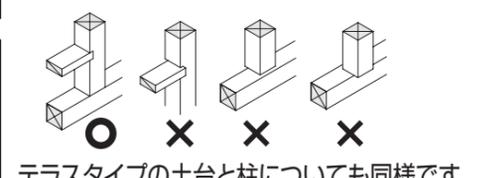
まぐさ・窓台・間柱は見付45mm以上のものを使用し、間柱間隔は500mm以下としてください。

窓台・まぐさ・束が、柱・間柱に強固に接合されていることを確認してください。



開口寸法W
開口寸法H
下げ振り
水準器
窓台
間柱
柱
まぐさ

窓台やまぐさ、間柱の接合部に段差が無いことを確認してください。



テラスタイプの土台と柱についても同様です。

<在来工法の場合>
窓台(敷居)の水平は正確に出ていることを確認してください。
窓台と間柱は正確に組まれていることを確認してください。



<2×4工法の場合>
構造用合板は窓台と面一になっていることを確認してください。
合板スペーサーは、構造用合板にピッタリと取付いていることを確認してください。



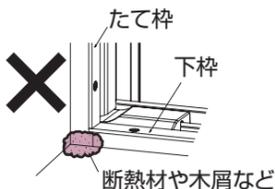
テラスタイプの土台と柱についても同様です。

2. 枠の取付

注意

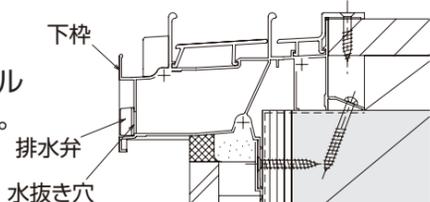
● 取付上の注意

- 本体取付箇所には必ず柱(間柱)があることを確認してください。
- 構造用合板のみでの取付けはしないでください。強度が保たれません。
- 内額縁を入れる前に、たて枠と下枠の接合部付近に断熱材や木屑などがある場合は取除いてください。雨シミが生じるおそれがあります。



● 排水弁について

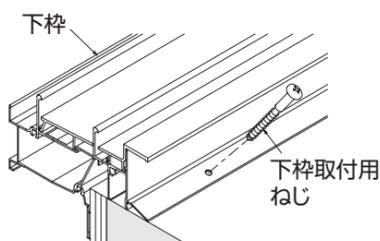
- 下枠前面に排水弁があります。漏水の原因となりますのでモルタルなどで絶対に塞がないでください。



お願い

● テラスタイプの下枠転び防止ヒレについて

- 障子吊込み前に必ず固定してください。先にねじ留めしないと枠が外側に転び、障子の開閉に不具合が生じるおそれがあります。



● スペーサーについて

- 窓枠と躯体・窓額縁と躯体の間にすき間の無いよう、適正な厚さのスペーサーを入れてください。
- 窓枠にソリ・フレが生じた場合、開閉力・性能に影響をおよぼす場合があります。



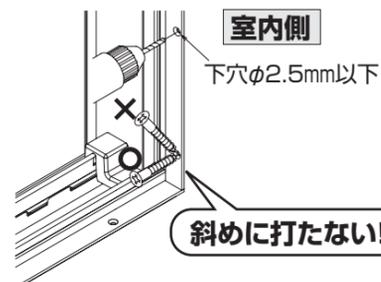
お願い

● 樹脂アングル部の取付けについて

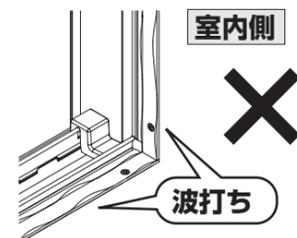
- ねじはまっすぐに打ってください。斜めに打つとねじ頭が浮くおそれがあります。



- 2.5mm以下のドリルで下穴をあけると打ちやすくなります。

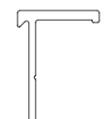


- 樹脂アングル部は、適正トルク1.0N・m程度でねじ留めしてください。トルクが大きすぎると樹脂アングルが波打ちします。



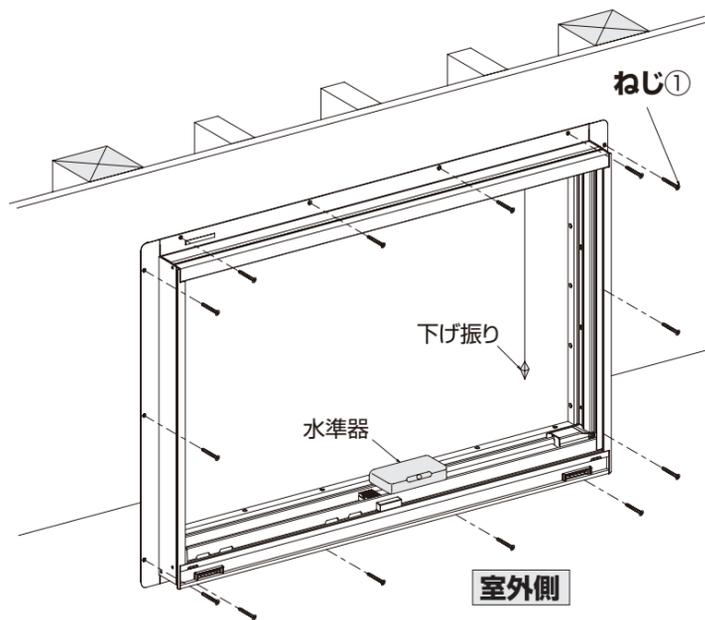
● テラスタイプ(2×4工法、下枠単純段差)の下枠アタッチメント(オプション)について

- 下枠アタッチメントは、オプションとなっています。

商品記号	PK-52517-□□□□	PK-52517-□□□□S
適用	床厚27~43mm対応(スペーサー無)	床厚24mm対応(スペーサー付)
姿図		 スペーサー

- 下枠アタッチメントを紛失しないよう取扱いにご注意ください。

1. 下げ振り、水準器などを使用し、枠のソリ・対角差・ねじれを確認しながら枠をねじで固定してください。



枠取付後の確認

冒頭のお願いに記載されている許容範囲内で、枠が取付けされているか確認を行ってください。

許容範囲を超える場合、開閉不良、性能低下の原因となりますので取付調整を行ってください。

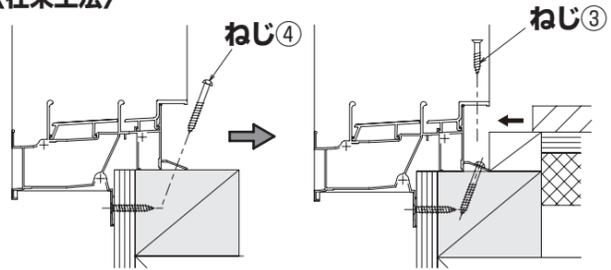
下枠前面についている排水弁が閉じていることを確認してください。

2. 枠の取付(つづき)

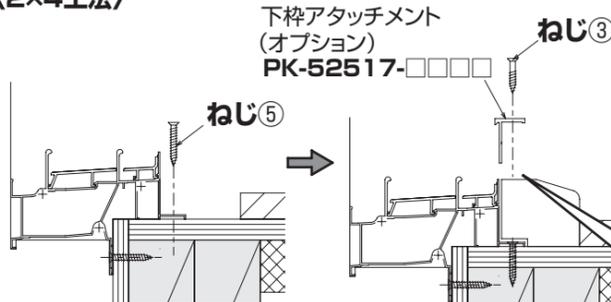
- 下枠の室内側にある下枠転び防止ヒレをねじで固定してください。
- 上下・たて枠の室内側および室内側アングル部をねじで固定してください。

詳細図 (図は引違い窓を示しています)

● 下枠部【テラスタイプ】 (在来工法)

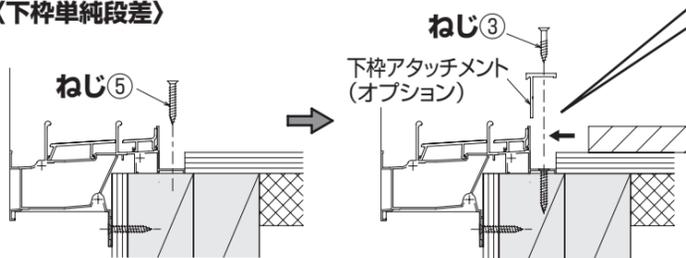


(2×4工法)



下枠アタッチメント
(オプション)
PK-52517-□□□□

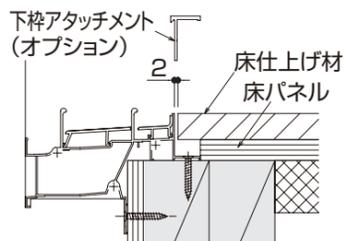
(下枠単純段差)



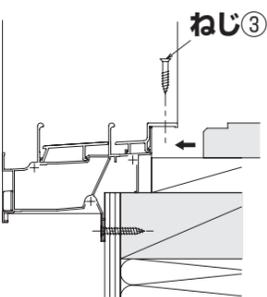
下枠立上がり部に
下枠アタッチメント
を引っかけて、
ねじで固定して
ください。



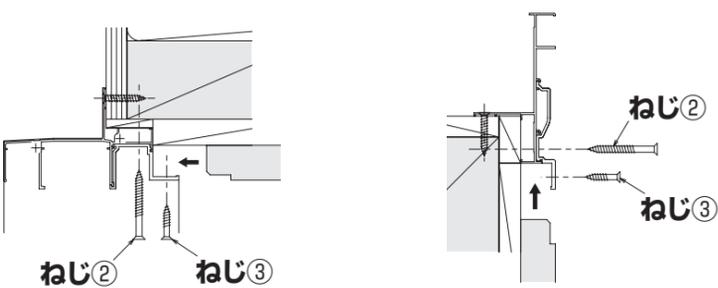
- 下枠アタッチメントは床仕上げ材を施工後に取付けます。サッシ下枠と床仕上げ材および床パネルとの間には、下枠アタッチメントが差込めるよう、2mm程度のクリアランスを必ず設けて施工してください。



● 下枠部【窓タイプ】



● 上枠部・たて枠部【テラスタイプ・窓タイプ共通】

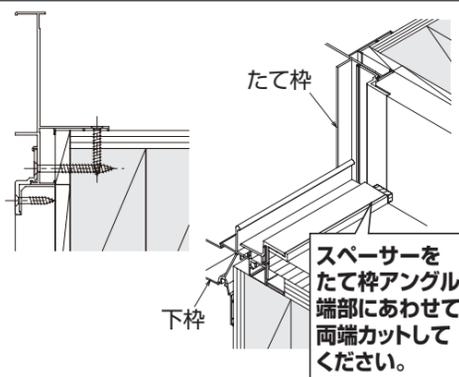


枠取付後の確認

下枠取付用ねじが下枠転び防止ヒレに着座していることを確認してください。

床厚24mmの場合

額縁をシャクリ有で納めるときは、図のように下枠アタッチメントのスペーサーを切断して使用してください。



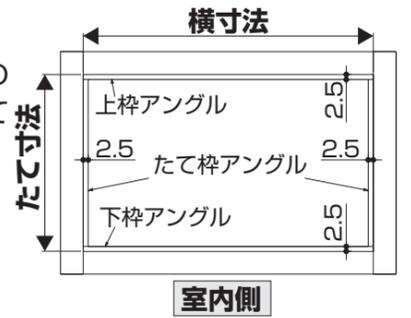
木額縁製作時の採寸

● たて寸法

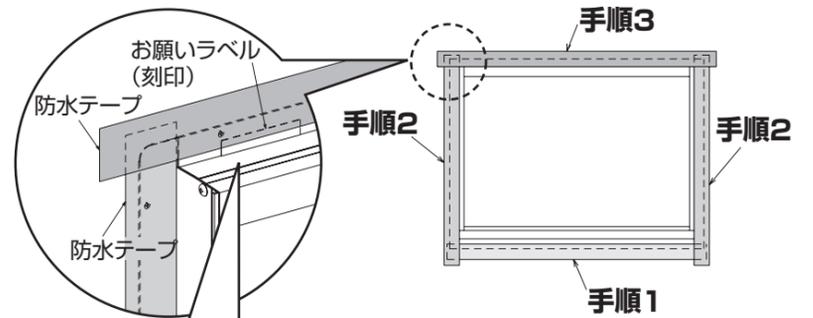
たて枠アングルと上・下枠アングルのコーナーをピッタリあわせて採寸してください。

● 横寸法

上・下枠アングルの長さを採寸してください。



3. 防水テープの貼付



● お願いラベル表示

防水テープは、赤のラインが隠れる高さで貼り付けてください
この線まで

● 刻印表示

↓防水テープはここまで

防水テープは、ラインが隠れるよう平行に貼ってください。

4. 面格子ユニットの取付(面格子付引違い窓の場合)

1. 下枠側をねじ留めし、位置を決めて上枠側をねじ留めして取付けてください。

- 面格子用取付ねじは、「面格子ユニット」に同梱されています。
- たて・横格子タイプのW6尺系以上の場合、面格子ユニットは2枚組となります。

■ 上枠への取付

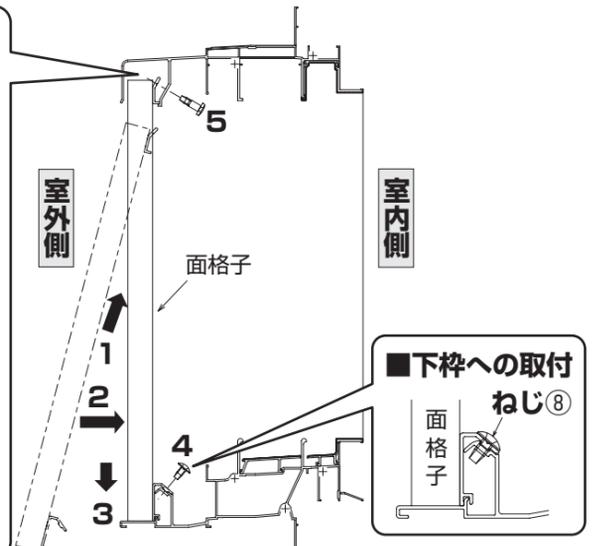
● たて格子タイプ



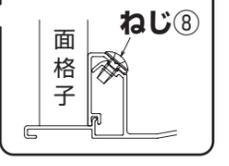
● 井桁・ラチス・横格子タイプ



面格子の種類によって
面格子上枠が引っかかる
位置が異なります。



■ 下枠への取付



格子取付後の確認

面格子用取付ねじのゆるみがないことを確認してください。

5. 障子の吊込み

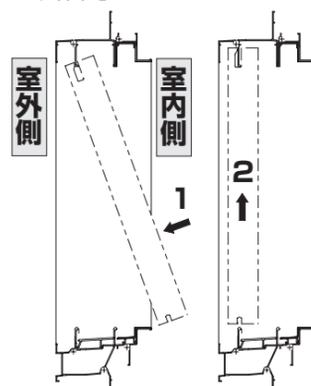
お願い

- 枠がねじで固定されていることを確認してください。
- 下枠転び防止ヒレが、ねじ固定されていない状態で、障子を吊込むと枠が外側に転び、開閉不具合の原因となります。
- レールにゴミが付着していないことを確認してください。開閉の際、戸車にゴミがかみこんだりするおそれがあります。

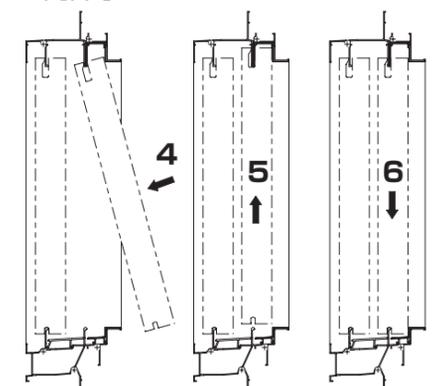
室内側より吊込む場合、外障子→内障子の順に吊込んでください。

片引き・両袖片引き窓の場合、障子固定ストッパーが解錠されていることを確認してください。

■ 外障子



■ 内障子



障子吊込み後の確認

スムーズに開閉できることを確認してください。

6. 建付調整



障子を閉じた状態で、障子がガタつく場合(たて枠と障子にすき間がある場合)

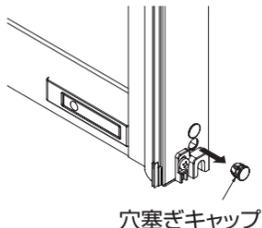
● 戸車の調整

すきま風や雨水が入ってくるおそれがあるため、戸車の調整を行い、障子の傾きを修正してください。

お願い

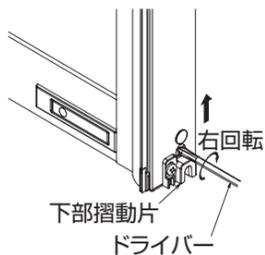
- 戸車の調整を行った場合は、召合せ枠の下部摺動片(雨水の侵入を防ぐシールピース付)の調整を行ってください。
- 戸車調整後、穴塞ぎキャップは再度取付けてください。

1. 下側の穴塞ぎキャップを外してください。



穴塞ぎキャップ

2. ねじ穴にドライバーを差込み、調整ねじをまわしてください。
右回転で障子が上がります。



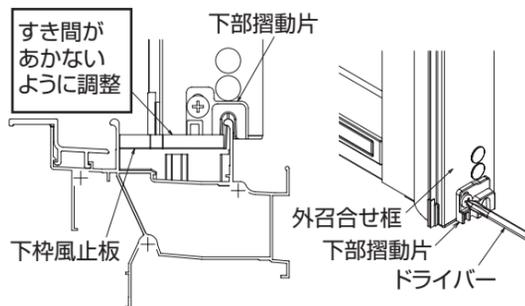
下部摺動片
ドライバー



- 出荷時、障子は下がった状態にしております。それ以上は下がりません。上げたい場合のみ、戸車を調整してください。

● 下部摺動片の調整

- ねじをゆるめて、下部摺動片と下枠風止板とのすき間がなくなるよう調整してください。
- 調整後、必ずねじを締めてください。



すき間があかないように調整

下部摺動片
外召合せ枠
下部摺動片
ドライバー

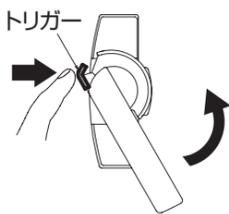
クレセントを施錠した状態で障子がガタついたり、クレセントがかかりにくい場合

お願い

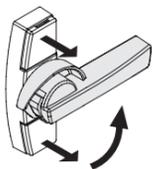
- 固定ねじは絶対に外さないでください。ねじが紛失したり、部品が落下するおそれがあります。

● クレセントの調整

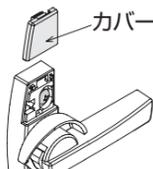
1. トリガーを指で押えながらクレセントを中間位置まで回してください。



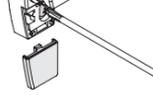
2. クレセントの上下カバーを外してください。



3. ねじをゆるめ、上下に動かして位置を調整してください。

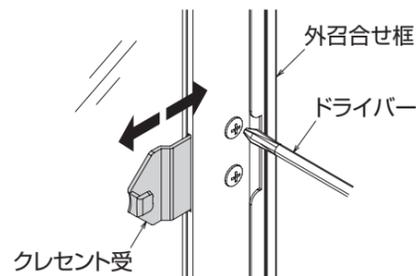


4. 調整後、必ずねじを締めてカバーを元に戻してください。



● クレセント受の調整

- ねじをゆるめ、左右に動かし調整してください。
- 調整後、必ずねじを締めてください。



- サポート引手・サポートハンドル付障子、片引き窓の場合は、内障子を外してクレセント受を調整してください。

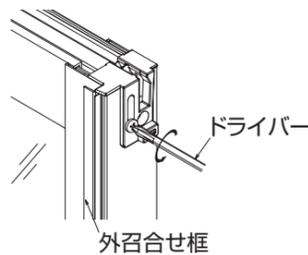
7. 障子はずれ止めのセット



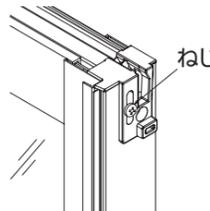
注意

- はずれ止めをセットしないと障子が外れて落下し、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

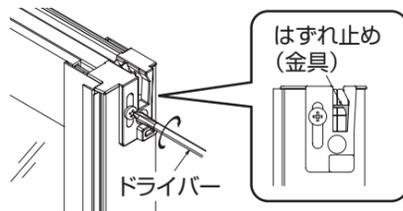
1. 調整ねじをゆるめてください。



2. はずれ止めを障子の開閉に支障のない範囲でいっぱい上げてください。
調整ねじの動きに連動して、はずれ止めが上下に動きます。



3. 調整後、ねじを締めてください。

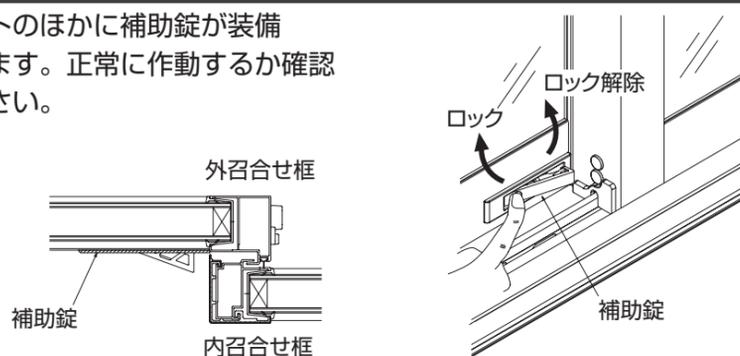


障子はずれ止めのセット後の確認

スムーズに開閉できることを確認してください。開閉しにくい場合は、はずれ止めを少しずつ下げて調整してください。窓を持上げるようにして、窓がレールから外れないことを確認してください。

8. 補助錠の作動確認

クレセントのほかに補助錠が装備されています。正常に作動するか確認してください。



9. 障子固定ストッパーの施・解錠確認(片引き窓の場合)

お願い

- 外障子を動かす時は、障子ストッパーの解錠を必ず確認してください。無理に動かすと部品破損や下枠破損につながるおそれがあります。

障子固定ストッパーの施・解錠により外障子を固定・可動します。ストッパー受にラッチがはまり込み、施錠されます。正常に施錠するか確認してください。

